

地域課題の解決に向けた取組

原木供給力の増大に向けた取り組み

上川中部森林管理署



28年5月に閣議決定された「森林・林業基本計画」の中で、原木供給力の増大に向けた施策として、全木集材の普及、主伐再造林対策の強化、素材生産と造林等を兼務できる人材の育成及び効率的な作業システムの普及・定着が求められています。

当署では、これらに向けた取組として、「全木集材現地検討会の実施」、「コンテナ苗植栽研修会の実施」、「新規就業者確保に向けた取組」を実施してきました。

全木集材現地検討会

全木集材とは、木の枝葉をつけたまま集材する方法です。

当署では、森林作業道を使い、車両系作業システムで、木寄せを全木で行う集材方法の現地検討会を林業事業体及び研究機関等を対象にして28年8月に実施しました。

この集材方法は、林地に枝葉が残らないため、地

拵えの省略やバイオマス資材（枝葉、端材等）としての利用に有利というメリットがあります。

また、伐採とコンテナ苗を用いた植付を一括して発注する「伐採・造林一貫作業システム」を併せて実施し、地拵えの省略や苗木運搬作業の簡素化などによる造林コスト削減の可能性についても示しました。



グラップルウインチによる全木木寄せの様子（愛別町）

現地検討会の成果として、「このような検討会のチャレンジに敬意を表したい」「全木集材という言葉がわかりづらい」「作業システムは現地に合わせて採用すべき」という意見が出され、今後、作業システムを検討すべき点が明らかになりました。

この結果を踏まえ、全木集材の功程調査を実施し、29年2月3日に札幌市で開催された「北の国・森林づくり技術交流発表会」において、現状と課題について発表しました。

コンテナ苗植栽研修会

伐採や造林など複数の作業に精通した現場作業者の育成及び効率的な作業システムの普及・定着を目的として、昨年10月に旭川地方森林整備事業協同組合と協同で、素材生産の林業事業体等を対象にコンテナ苗植栽研修会を実施しました。

研修会では、「根鉢の大きさと合えばディンプルが一番工程が上がる」「スパードは力が必要で、苗間を測るためには長さが必要であり、ねじるためには短い補助棒が必要」「クワの方が効率がよくさそう」等の意見が出されました。



クリーンラーチのコンテナ苗（上川町）

研修会では、実際に改良された植栽器具を活用した植栽体験を実施し、参加者が責任を持って植栽するよう名札をつけて、次年度現地確認の際にわかるようにしました。



スパード（左）ディンプル（右）

研修会では、「根鉢の大きさと合えばディンプルが一番工程が上がる」「スパードは力が必要で、苗間を測るためには長さが必要であり、ねじるためには短い補助棒が必要」「クワの方が効率がよくさそう」等の意見が出されました。これらの意見は、今後の植栽器具改良に資するため、森林総合研究所に送付しております。

新規就業者確保に向け

林業事業体の育成に資するため新規就業者の確保に向けた取組として、地元農業高校から林業事業体等への新規採用者が減少していることから、国有林関係事業体等に対し、旭川農業高等学校生徒のインターンシップ実施への協力を依頼しました。

また、上川総合振興局が主催し昨年度設置した、「旭川周辺地域担い手確保推進協議会」において実施した「山の仕事説明会」への参加についても林業事業体等に協力依頼しました。

当署の取組としては、旭川林業土木協会が旭川農業高等学校の生徒を対象に実施した「現場見学会」に協力し、治山事業地での説明、講師として国有林の紹介、治山事業の意義・重要性などを解説しました。

また、旭川農業高等学校森林科学科2年生のインターンシップを3日間実施しました。

これらの結果、「山の仕事説明会」に多くの林業事業体や森林土木工事業者に参加いただいたところであり、就職先としての選択の幅が広がったことと思います。



治山現場でインターンシップ (上川町)

近年、国有林の職場を希望する旭川農業高校の森林科学科生徒が減少している中で、インターンシップや「現場見学会」を通じて国有林の仕事を知り、今年度も公務員試験受験を希望する生徒がいることを、担当の先生から伺いました。

今後は、他の学校への取組も検討しており、引き続き幅広く林業への就業者確保に向けた取組を実施していきたいと思えます。

糠平グリーンクラブ
結団式と小鳥の村開村式

【東大雪支署】

平成29年4月21日、上士幌町立糠平小学校にて、糠平グリーンクラブ結団式および小鳥の村開村式が開催されました。

式では、一年間の目標を6名の団員が一人一人発表しました。団長を務める6年生の田中くんは、「探鳥会ではオオルリを見たい。森林教室では木の実や樹木の特徴を覚えたい。」と力強く抱負を語ってくれました。

糠平グリーンクラブは、糠平地域の自然保護と団員の健康な身体と健全な精神を養うことを目的として昭和47年に結成され、主に探鳥会や美化活動を精力的に行っています。昨年度は、これまでの活動が評価され、前田一步園財団(釧路市)の「一步園ジュニア自然

環境奨励賞」を受賞しました。

上士幌町教育委員会と東大雪支署が協定締結している遊々の森「小鳥の村」を主な活動拠点としています。

今年も森林の中で、元気いっぱいな団員のみなさんに会えるのを心待ちにしています。



団員・顧問・指導員全員で記念写真



森林教室でトドマツの直径を測定

お知らせ

北海道森林管理局のホームページでは、皆様、森林・林業・木材産業に対する理解を深めていただけるよう「イベント情報カレンダー」を掲載しておりますので、ご覧下さい。

広報 「北の森林 国有林」5月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70
I P 電話 050-3160-6300
電 話 011-622-5213
F A X 011-622-5194
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>